

第 40 回

オンライン読書会 (27) (ZOOM)

＜参加できる阿佐ヶ谷婦人公論読書会&忘年会＞

「おんたとおとこの工夫 生涯を連れ添うために」

2022.7.22 開催



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、
オンライン読書会を開催しています。

★ テキスト・テーマ

- ・人生 100 年時代の家族の姿と女性の人生の多様化、どう対応する？
(NTV ニュース:男女共同参画白書 2022 年度版より)

★ 参加者 : 14 名 (女 10 名、 男性 4 名)



★ 参加者の感想

今回、初めて読書会に参加させて頂きました。家族支援室からも数名の初参加の方があり、
錚々たる顔ぶれの中で皆様とお近づきになれました事、貴重な機会に感謝しております。

はじめに長谷川先生より読書会の位置付けに関してお話頂きました。ノーベル文学賞受賞者の日系英国人作家 (カズオ・イシグロさん) を例に「自分個人の体験を拾っていくと広がるものがある」というお言葉が印象的でした。

その後、森友さんより 6 月 14 日日テレ NEWS 放送「もはや昭和ではない」～人生 100 年時代の家族の姿と女性の人生の多様化、どう対応する?～というネットニュースをご紹介頂きました。

2020 年厚生労働省の人口動態統計によると、コロナ禍で婚姻件数は戦後最も少なく、またその 3 分の 1 が離婚件数という状況でした。さらに、30 歳時点での未婚割合は女性 4 割、男性 5 割に及び、全世代の既婚男女のおよそ 15%が将来的に「離婚の可能性があり」と回答していることもわかりました。

今後の政府の対応策としては、『女性の経済的自立』が挙げられ、男女間の賃金格差の開示や女性のデジタル分野での就労支援を集中的に推進していくとの事。

さらに男女差を測る指標として、世界経済フォーラム (WMF) 公表の 2021 年ジェンダー・ギャップ指数ランキングにおいて、日本は 156 か国中 120 位という先進国でも最低レベルのデータもご紹介頂きました。

そこで、碓先生より IMF=国際通貨基金のトップである、ゲオルギエバ専務理事の「日本は女性の地位・賃金を上げる事で国の経済力が上がる」という発言を取り上げ、これはどういった事なのかについて、皆さんへの投げかけがありました。

女性が消費行動を握っているという視点や、賃金だけ上げても子育て世代のサポートがな

いとうまくいかないといったお話、そして現に結婚したくてもできる環境ではないといった貴重な実体験も伺うことができました。

私自身まさに育児を機に一度仕事から離れるという「M字カーブ現象」を経験してきたこともあり、賃金を上げるという段階に至るまでの、職業選択、労働環境、子育て体制、夫の意識変化…等々、数値では見えてこない無数の段階についてお話させていただきました。

(家族相談士 板倉瑞貴)

<オンライン読書会はいかがでしょう？>



阿佐ヶ谷の洒落たお店でのお茶は、しばらくおあずけですが、
長谷川理事長のご講義が画面から溢れてくるオンタイムのゼミナールもまた必見！
夫婦生活につまずいている方はもちろん？円満な方やおひといさまのお知恵も拝借しながら、おんたとおとこが添い遂げる工夫を、家族カウンセリングの視点から学び合いましょう。協会員なら、どなたでもこのオンライン読書会にご参加できます。

★次回は第41回 8月30日(火) 20:30 ZOOM開催です。

理事長ご提案のテーマで話し合います。会員の皆さま、奮ってご参加くださいね！

<会員限定>

オンライン読書会 (ZOOM) に参加ご希望の方は➡のQRコードに (森友ラインあて)、お手持ちのスマホでカメラをかざして繋いでください。



「参加できる阿佐ヶ谷婦人公論読書会」グループラインに招待させていただきます。

★今後の阿佐ヶ谷のカフェでの読書会は本協会の対応に準じて開催していく予定です。

しばらくはオンラインを使って読書会を継続していきます。

何卒、ご理解、ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。